



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月7日

上場会社名 リョービ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5851 URL <https://www.ryobi-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦上 彰

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部副本部長 (氏名) 有廣 弘 TEL 03-3501-0511
兼 財務部部长

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	215,219	5.9	6,055	△28.5	7,251	△27.1	5,511	△22.4
2023年12月期第3四半期	203,218	13.3	8,469	187.4	9,945	148.1	7,100	219.6

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 9,051百万円 (△51.6%) 2023年12月期第3四半期 18,689百万円 (18.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	170.29	-
2023年12月期第3四半期	219.37	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	309,639	166,801	50.8
2023年12月期	318,839	160,721	47.5

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 157,426百万円 2023年12月期 151,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	35.00	-	45.00	80.00
2024年12月期	-	42.50	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	-	-	42.50	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	292,000	3.3	8,500	△30.4	9,500	△31.5	7,000	△30.8	216.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー 社 (社名) 、 除外 ー 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期3Q	32,646,143株	2023年12月期	32,646,143株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	277,865株	2023年12月期	277,764株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期3Q	32,368,325株	2023年12月期3Q	32,368,476株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：有 (任意)

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

[期中レビュー報告書]

(補足資料) 2024年12月期第3四半期決算補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年1月1日～2024年9月30日)における当社グループを取り巻く環境は、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の悪化、資源・エネルギー価格の高止まり、世界的な金融引き締めに伴う物価や為替の変動など、先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループは積極的な販売活動を進め、原価低減や生産性の向上、業務の効率化などの諸施策を推進しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、次のとおり前年同期に比べて増収、減益となりました。

<連結業績>

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減
売上高	203,218	215,219	12,001 (5.9%)
営業利益	8,469 (4.2%)	6,055 (2.8%)	△2,414 (△28.5%)
経常利益	9,945 (4.9%)	7,251 (3.4%)	△2,693 (△27.1%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,100 (3.5%)	5,511 (2.6%)	△1,588 (△22.4%)

()内は売上高利益率、ただし増減欄は増減率

セグメント別では、ダイカスト事業は、前年同期に比べて増収、減益となりました。売上高は、国内はほぼ前年並みでしたが、海外は増加しました。特に、北米では自動車生産が回復した一方で、中国では主要取引先である自動車メーカーの販売が減少したため、販売量は前年並みとなりましたが、在外子会社の売上高は円安の影響で円換算額が増加し、全体として増収となりました。利益については、労務費などの固定費の増加が影響して減益となりました。

住建機器事業は、前年同期に比べて増収、減益となりました。売上高は、ほぼ前年並みでしたが、利益については、生産性向上や経費削減等に努めたものの、海外生産品の調達コストの上昇などにより減益となりました。

印刷機器事業は、前年同期に比べて減収、減益となりました。売上高は、国内、海外ともに減少しました。利益については、原価低減や生産性向上等に努めたものの、原材料価格高騰の影響や減収の影響により減益となりました。

①セグメント別売上高

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減
ダイカスト	178,218 (87.7%)	190,482 (88.5%)	12,264 (6.9%)
住建機器	7,820 (3.8%)	7,957 (3.7%)	137 (1.8%)
印刷機器	17,020 (8.4%)	16,605 (7.7%)	△414 (△2.4%)

()内は構成比率、ただし増減欄は増減率

②セグメント別営業利益又はセグメント別営業損失

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減
ダイカスト	7,702 (4.3%)	6,149 (3.2%)	△1,553 (△20.2%)
住建機器	148 (1.9%)	△312 (△3.9%)	△460 (—)
印刷機器	630 (3.7%)	236 (1.4%)	△393 (△62.5%)

()内は売上高利益率、ただし増減欄は増減率

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ91億99百万円減少し、3,096億39百万円となりました。減少は主に受取手形及び売掛金105億83百万円、現金及び預金73億91百万円等によるものです。その一方で、増加は棚卸資産60億54百万円等がありました。

負債は、前連結会計年度末に比べ152億80百万円減少し、1,428億38百万円となりました。減少は主に長・短借入金84億54百万円、支払手形及び買掛金79億円等によるものです。その一方で、増加は賞与引当金15億63百万円等がありました。受取手形割引高及びリース債務を除いた有利子負債残高は、617億41百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ60億80百万円増加し、1,668億1百万円となりました。増加は主に利益剰余金26億79百万円、為替換算調整勘定18億10百万円、その他有価証券評価差額金16億38百万円等によるものです。純資産から非支配株主持分を差し引いた自己資本は、前連結会計年度末に比べ61億24百万円増加し、1,574億26百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.3ポイント増加し、50.8%となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第3四半期連結会計期間末	増 減
総資産	318,839	309,639	△9,199 (△2.9%)
自己資本	151,302 (47.5%)	157,426 (50.8%)	6,124 (4.0%)
有利子負債	70,195 (22.0%)	61,741 (19.9%)	△8,454 (△12.0%)

() 内は対総資産比率、ただし増減欄は増減率

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ74億93百万円減少し、189億8百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に比べ10億7百万円増加し、159億38百万円の資金増加となりました。資金増加は主に減価償却費148億68百万円、売上債権の減少112億13百万円等によるものです。その一方で、資金減少は仕入債務の減少78億89百万円等がありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に比べ5億8百万円支出が減少し、111億86百万円の資金減少となりました。資金減少は主に有形固定資産の取得による支出107億7百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に比べ73億4百万円減少し、125億99百万円の資金減少となりました。資金減少は主に長・短借入金の減少94億76百万円、配当金の支払28億22百万円等によるものです。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増 減
営業活動による キャッシュ・フロー	14,930	15,938	1,007
投資活動による キャッシュ・フロー	△11,694	△11,186	508
財務活動による キャッシュ・フロー	△5,295	△12,599	△7,304

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2024年11月7日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,641	20,250
受取手形及び売掛金	64,298	53,715
有価証券	650	650
商品及び製品	21,470	23,388
仕掛品	17,245	20,949
原材料及び貯蔵品	21,233	21,666
その他	4,144	4,441
貸倒引当金	△37	△22
流動資産合計	156,646	145,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,886	33,785
機械装置及び運搬具（純額）	59,750	59,520
土地	15,242	15,313
建設仮勘定	8,406	9,944
その他（純額）	6,162	6,177
有形固定資産合計	123,447	124,740
無形固定資産		
その他	2,619	2,888
無形固定資産合計	2,619	2,888
投資その他の資産		
投資有価証券	19,182	19,033
その他	17,006	18,005
貸倒引当金	△63	△66
投資その他の資産合計	36,125	36,972
固定資産合計	162,193	164,601
資産合計	318,839	309,639

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,912	43,011
短期借入金	36,625	32,711
1年内返済予定の長期借入金	9,553	5,291
未払法人税等	1,300	719
賞与引当金	645	2,208
役員賞与引当金	62	—
その他	18,815	18,039
流動負債合計	117,915	101,982
固定負債		
長期借入金	24,016	23,738
退職給付に係る負債	7,044	7,130
その他	9,141	9,987
固定負債合計	40,202	40,855
負債合計	158,118	142,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,472	18,472
資本剰余金	22,294	22,339
利益剰余金	84,292	86,971
自己株式	△347	△347
株主資本合計	124,711	127,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,394	10,033
土地再評価差額金	811	812
為替換算調整勘定	16,299	18,110
退職給付に係る調整累計額	1,084	1,034
その他の包括利益累計額合計	26,590	29,990
非支配株主持分	9,418	9,375
純資産合計	160,721	166,801
負債純資産合計	318,839	309,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	203,218	215,219
売上原価	178,477	191,230
売上総利益	24,741	23,989
販売費及び一般管理費	16,271	17,934
営業利益	8,469	6,055
営業外収益		
受取利息	98	144
受取配当金	236	286
受取賃貸料	113	126
為替差益	1,176	514
持分法による投資利益	130	248
商標権使用料	335	494
その他	627	606
営業外収益合計	2,720	2,421
営業外費用		
支払利息	1,044	1,053
減価償却費	9	10
その他	189	161
営業外費用合計	1,244	1,224
経常利益	9,945	7,251
特別利益		
固定資産処分益	47	14
投資有価証券売却益	3	252
段階取得に係る差益	—	180
特別利益合計	50	447
特別損失		
固定資産処分損	90	39
投資有価証券評価損	—	12
減損損失	38	—
特別損失合計	128	52
税金等調整前四半期純利益	9,867	7,646
法人税等	2,431	1,973
四半期純利益	7,436	5,673
非支配株主に帰属する四半期純利益	335	161
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,100	5,511

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	7,436	5,673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,151	1,616
土地再評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	7,695	1,701
退職給付に係る調整額	235	△49
持分法適用会社に対する持分相当額	170	109
その他の包括利益合計	11,253	3,377
四半期包括利益	18,689	9,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,225	8,911
非支配株主に係る四半期包括利益	463	139

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,867	7,646
減価償却費	13,365	14,868
減損損失	38	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	△12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,129	1,563
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△80	72
受取利息及び受取配当金	△335	△431
支払利息	1,044	1,053
助成金収入	△15	△62
持分法による投資損益 (△は益)	△130	△248
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△180
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△252
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	12
固定資産処分損益 (△は益)	42	24
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,413	11,213
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,483	△4,727
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△84	△215
仕入債務の増減額 (△は減少)	749	△7,889
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△655	△2,386
その他	△991	△885
小計	17,052	19,164
利息及び配当金の受取額	307	783
利息の支払額	△966	△1,268
助成金の受取額	15	62
法人税等の支払額	△1,477	△2,801
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,930	15,938
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,859	△10,707
有形固定資産の売却による収入	214	52
有価証券の取得による支出	△650	△650
有価証券の売却による収入	650	650
投資有価証券の取得による支出	△8	△3
投資有価証券の売却による収入	4	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	244
定期預金の預入による支出	△1,312	△1,319
定期預金の払戻による収入	1,214	1,214
その他	△948	△667
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,694	△11,186
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,627	△4,682
長期借入れによる収入	4,130	4,200
長期借入金の返済による支出	△4,606	△8,993
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,938	△2,822
その他	△253	△300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,295	△12,599
現金及び現金同等物に係る換算差額	532	354
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,526	△7,493
現金及び現金同等物の期首残高	26,099	26,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,573	18,908

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。)に準拠して作成しています。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	ダイカスト	住建機器	印刷機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	178,218	7,820	17,020	203,058	160	203,218	—	203,218
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	—	—	41	14	55	△55	—
計	178,259	7,820	17,020	203,100	174	203,274	△55	203,218
セグメント利益又は 損失(△)	7,702	148	630	8,481	△11	8,470	△0	8,469

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及びゴルフ場の経営を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等によるものです。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	ダイカスト	住建機器	印刷機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	190,482	7,957	16,605	215,045	174	215,219	—	215,219
セグメント間の内部 売上高又は振替高	46	—	—	46	16	62	△62	—
計	190,529	7,957	16,605	215,092	190	215,282	△62	215,219
セグメント利益又は 損失(△)	6,149	△312	236	6,073	△18	6,055	△0	6,055

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及びゴルフ場の経営を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等によるものです。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2024年11月6日

リョービ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ
東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

茂木 浩之

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

吉田 一平

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられているリョービ株式会社の2024年1月1日から2024年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2024年7月1日から2024年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2024年1月1日から2024年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析の手續その他の期中レビュー手續を実施する。期中レビュー手續は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手續である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社（四半期決算短信開示会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータ及びHTMLデータは期中レビューの対象には含まれていません。

2024年12月期 第3四半期決算補足資料

2024年11月7日
リョービ株式会社

(連結)

(単位:百万円、%)

	2022/12		2023/12		2024/12	
	第3四累計	通期	第3四累計	通期	第3四累計	通期(予想)
売上高	179,311	249,521	203,218	282,693	215,219	292,000
営業利益	2,947 1.6	6,969 2.8	8,469 4.2	12,214 4.3	6,055 2.8	8,500 2.9
経常利益	4,009 2.2	7,791 3.1	9,945 4.9	13,861 4.9	7,251 3.4	9,500 3.3
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,221 1.2	4,784 1.9	7,100 3.5	10,115 3.6	5,511 2.6	7,000 2.4
1株当たり当期純利益	68.64円	147.80円	219.37円	312.51円	170.29円	216.26円

セグメント別売上高

	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
ダイカスト	155,896 86.9	215,726 86.5	178,218 87.7	247,551 87.6	190,482 88.5	256,500 87.8
住建機器	7,359 4.1	10,145 4.1	7,820 3.8	10,823 3.8	7,957 3.7	10,500 3.6
印刷機器	15,884 8.9	23,417 9.4	17,020 8.4	24,094 8.5	16,605 7.7	25,000 8.6
国内	82,264 45.9	114,726 46.0	89,773 44.2	124,786 44.1	89,402 41.5	124,500 42.6
海外	97,046 54.1	134,794 54.0	113,445 55.8	157,907 55.9	125,817 58.5	167,500 57.4

セグメント別営業利益

	利益率	利益率	利益率	利益率	利益率	利益率
ダイカスト	1,870 1.2	5,232 2.4	7,702 4.3	10,916 4.4	6,149 3.2	8,000 3.1
住建機器	187 2.5	226 2.2	148 1.9	172 1.6	-312 -3.9	0 0.0
印刷機器	885 5.6	1,506 6.4	630 3.7	1,136 4.7	236 1.4	500 2.0

	比率	比率	比率	比率	比率	
総資産	303,309	300,285	321,764	318,839	309,639	—
自己資本	138,213 45.6	134,460 44.8	151,141 47.0	151,302 47.5	157,426 50.8	—
利益剰余金	73,556 24.3	76,118 25.3	81,277 25.3	84,292 26.4	86,971 28.1	—
有利子負債	77,371 25.5	74,358 24.8	74,475 23.1	70,195 22.0	61,741 19.9	65,000

設備投資	13,277	18,646	10,401	13,896	12,070	21,000
減価償却費	13,658	18,327	13,365	18,489	14,868	19,000

営業キャッシュ・フロー	4,206	16,787	14,930	26,005	15,938	—
投資キャッシュ・フロー	-12,889	-15,860	-11,694	-17,432	-11,186	—
財務キャッシュ・フロー	-1,862	-2,856	-5,295	-8,593	-12,599	—

(単位:人)

期末人員	7,352	7,375	7,533	7,497	7,916	—
------	-------	-------	-------	-------	-------	---

(’24/12期第4四半期の想定為替レート)

米ドル	145円	英ポンド	190円
中国元	20.5円	タイバーツ	4.0円